

様式5 - 2

議 案 の 提 出（その2）

発議第 8 号

中川勝市長の退任に伴う表敬決議

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

令和 5 年 12 月 11 日

提出者	米沢市議会議員	堤 郁 雄
賛成者	〃	鳥 海 隆 太
	〃	島 貫 宏 幸
	〃	我 妻 徳 雄
	〃	山 村 明
	〃	高 橋 壽
	〃	山 田 富佐子
	〃	

米沢市議会議長 様

中川勝市長の退任に伴う表敬決議（案）

中川勝市長が、来る１２月２１日をもって勇退されるに当たり、２期８年にわたり米沢市政を担われた御労苦に対し、本議会として御慰労を申し上げますとともに、深く敬意を表するものであります。

中川市長は平成２７年１２月に第３６代米沢市長に就任されて以来、人口減少や少子高齢化が急速に進展する中、「米沢市まちづくり総合計画」に掲げる将来像「ひとが輝き 創造し続ける学園都市・米沢」を目指し、豊かな自然、歴史文化、学園都市としての強みなど、本市が有する地域資源を活かしながら誰もが暮らしやすく持続可能なまちの実現に向け鋭意、邁進されました。

その功績をいくつか挙げますと、日本初の官民連携病院である新米沢市立病院の開院、新庁舎の建設、健康長寿のまちづくりの推進、米沢ブランド戦略事業の推進、道の駅米沢の整備、ゼロカーボンシティ宣言、屋内遊戯施設「くても」の整備、置賜成年後見センターの設立などがあります。

また、この間、新型コロナウイルス感染症の蔓延や異常気象による自然災害の頻発、ロシアのウクライナ侵略に起因する物価高騰などを受け、市民の健康を守り、社会・経済活動を支えるために様々な施策を講じてこられました。

このことは、ＳＤＧｓ未来都市に選定された本市として、いかに厳しい社会情勢であっても、挑戦と創造の精神で、ＳＤＧｓが掲げる「誰一人取り残さない」という理念の下、持続可能なまちの実現に向けて取り組んでいくという姿勢をお示しいただいたものと考えております。

米沢市議会は、中川勝市長のこれまでの功績に敬意を表し、米沢市の更なる発展に努めることを決意し、これを決議します。

令和５年１２月１５日

米沢市議会